

学校運営協議会で学校・地域連携カリキュラムの見直し（埴生小中一貫校）

本市におけるベースアップ研修会が埴生小中一貫校で初めて開催され、参加者は地域連携教育やコミュニティ・スクール、地域学校協働活動などについて再確認する機会となりました。その後、小学校6年生と中学校2年生の代表児童生徒が、学校運営協議会委員と一緒に学校・地域連携カリキュラムの見直しを行いました。地域の方からこれまでの取組の内容を教えただきながら、小中学校の交流をもっと増やしたい、ハザードマップを分かりやすく利用しやすいものにするなどの意見が出され、中身がより改善されました。



合同学校運営協議会（有帆小学校・高千帆小学校・高泊小学校・高千帆中学校）

高千帆中学校区では、今年度、本に親しもう、進んであいさつをしよう、地域を知り健康で安全な生活を心がけようという3つの共通取組事項を決めて、各学校で工夫した取組を行っています。例えば、読書習慣を形成するために、読書通帳の記入や親子読書週間の実施、縦割り班での6年生の読み聞かせなどに取り組み、成果を上げています。来年度も継続する取組もありますが、読書習慣を学習習慣の一つとして包含し、学習習慣を形成するための取組も検討されています。4校が各校の取組を参考にして前進することが期待されます。



生徒が参加した2回目の学校運営協議会（厚狭中学校）

今年度、厚狭中学校の学校運営協議会に、生徒会新執行部役員が2回目の参加をしました。来年度の生徒会の取組を説明してから、生徒が地域の方と対面で話し合いました。生徒全員が参加できるボランティア活動にはどんなものがあるか、校則については保護者や地域の方の意見も取り入れてみたいなど、生徒主体の学校づくりに向けて、地域とともに生徒会活動を盛り上げていこうとする思いが伝わってきました。生徒と地域が連携・協働するという新たな試みが、厚狭中学校で始まろうとしていて、今後が楽しみです。

